

# 宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール [jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp](mailto:jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp)

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



8月、(葉月 はづき)。今、定期総会へ向けて議案書作成に四苦八苦している。作ったデータを保存し忘れたり、字や数字の見間違いなどが常態化している。タイムマシンがあればと叶わぬ夢を追いながら、暑い中、作成にいそしんでいる。

## 8月の行事予定

日時	行 事 名	場 所
8月6日 (火)	七夕・ゆかた着付け体験会 10:00受付・着付け開始	東京エレクトロンホール(宮城県民会館)4F
8月31日 (土)	①宮城県日中友好協会 定期総会 13:30~ ②懇親会 総会后、2Fに移動。	①宮城県民会館602会議室 ②東龍門 会館2F

## 2. 2024年日中友好大学生訪中団第1陣(青年委員会 吉澤 千明)



6月24日から30日まで大学生訪中団の随行で中国(北京・西安・上海)に行ってきました。学生は全国公募で362人の中から選ばれた大学生92名が参加。公社日中友好協会副会長で茨城県日中友好協会会長の川津隆団長はじめ随行8名の100名の団でした。北京到着後インフルエンザを発症してしまった学生がいましたが早めに隔離し他への感染はなく無事に日程を終えることができました。

### ※ 担当バスのグループ



北京では北京外国語大学を訪問し、学生との交流会がありました。グループに分かれ双方の仕事、結婚、育児についての考え方の違いについて話し合いました。北京では万里の長城、中国共産党歴史展覧館にも行きました。

26日に西安へ移動。西安外国語大学の学生と1対1での交流が行われました。短い時間でしたが濃い交流ができたようでした。西安での観光は兵馬俑に行きました。中国は今夏休みということで本当に多くの人々が来場していました。見学する余裕もないほど人が多く、中国人観光客同士で喧嘩が始まってしまう場面にも出くわしました。身の危険を感じるほど

※グループディスカッション 人が多く、気分が悪くなり泣き出す女子学生もいました。まさに中国のオーバーツーリズムを肌で感じてきました。

29日に上海に移動。空港で2時間の遅延があり上海での送迎会は1時間で食事を終了。その後、夜の浦江遊覧を楽しみました。

### ※ 訪中団に参加した学生の感想を最後に紹介いたします。

私は当初の歓迎会では日中友好という言葉を重ねておらず、ピンときていなかった。しかしながら今回の旅行中、共産党博物館で見た歴史の展示や先日あった蘇州での事件などを踏まえると日中友好の厳しさというものもまた感じ、歓迎してくださるたくさんの方々の有難さを感じた。同時に、訪中団のような事業が成立していることは川津団長をはじめこれまでたくさんの方々のご尽力があったからこそで、日中友好はただ当たり前前に存在しているものではないと気が付いた。日中友好は当たり前には存在せず、努力の上で成り立っている。そのことを自覚したことで、我々若者が今後、先人たちの努力を引き継いでいかなければならないと使命感を得ることができた。これが私の日中友好の厳しさを感じ



じることもあったからこそ得た最大の学びだ。

### 3. 2024年度定期総会＜第38回総会＞開催について（女性委員会 水戸 憲子）



県女性委員会の2024年度定期総会＜第38回総会＞が6月25日、仙台市・国際センター多文化研修室で行われました。

水戸憲子委員長のあいさつの後、第1部として講演会を行い、金井恭子相談役の講師紹介に続いて「女性の活躍する街づくりとこれからの国際交流」と題して、富谷市長の若生裕俊氏（県協会顧問）が講演を行いました。若生氏は自身の青年活動（エ

ジプトでの植林、内モンゴルでの活動）を通して、環境問題やスローフード、気仙沼復興舞台※ 村等を立ち上げる中、富谷町長・市長としての地域の諸事業に関わってきた。また女性が活躍する富谷として、多文化共生・国際交流事業を応援してきた」等、興味ある内容の講演となりました。

第2部では2023年度の事業報告と決算、24年度の事業計画（8月の七夕ゆかた着付け、10月予定の魯迅仙台留学120周年諸行事への協力、11月の日中友好料理教室）と予算が承認されました。この後、お弁当昼食の懇談会も持たれ、次年度へ楽しく出発しました。

### 4. 「上海市魯迅初級中学」が富谷市へ（富谷市日中友好協会事務局長 安住稔幸）



今秋、“魯迅仙台120周年”を迎える7月3日、東北大学での見学を終えた上海市魯迅初級中学の生徒一行（中学2年生を中心に24名）が富谷市立東向陽台中学を訪問し交流しました。富谷市日中の代表が中国の小旗を振り歓迎しました。

また図書室に移動し、高橋校長の歓迎の挨拶の後、松田勝幸会長が歓迎のあいさつを行い、次に横山弥生理事長から魯迅中学に「宮城のこけし」、生徒全員に「魯迅先生と仙台」の絵ハガキ集を贈り、記念撮影となりました。

#### ※ 記念撮影



給食の後、午後からは3グループに分かれて授業を参観。国語のクラスでは魯迅の『故郷』を教材に学ぶところを見学しました。

最後に体育館での歓迎交流会も企画され、全員での合唱、有志による“東向中手踊り”が披露され、大きな拍手が送られていました。魯迅中学からは学校紹介がありました。また相互に記念品の贈呈があり、最後に全員で記念撮影をしました。そして拍手や“再見”の声に見送られ、学校を後

にしました。魯迅中学側の関係者からは“盛大な歓迎と、皆さんの色々な細かい準備や心配りに、とても感謝しています。次はぜひ上海においでください。大歓迎いたします”との声もありました。生徒たちの何のわだかまりもない、こうした教育・文化交流がもっと多く、また長く続くようにとあらためて実感しました。